

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年6月18日(2009.6.18)

【公表番号】特表2008-541561(P2008-541561A)

【公表日】平成20年11月20日(2008.11.20)

【年通号数】公開・登録公報2008-046

【出願番号】特願2008-510032(P2008-510032)

【国際特許分類】

H 04 N 1/46 (2006.01)

H 04 N 1/60 (2006.01)

G 06 T 1/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 1/46 Z

H 04 N 1/40 D

G 06 T 1/00 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月22日(2009.4.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンピュータで実施される方法であって、

紙基板と色材群に関する基本データを機器依存の色空間から離散可視スペクトル近似に変換するステップと、

前記色材群の機器依存の数値を正規化して、前記色材群から前記紙基板が測色値に与える影響を除去することによって前記色材群の透過率ベクトルを生成するステップと、を含むことを特徴とする方法。

【請求項2】

コンピュータアクセス可能メモリであって、実行時にひとつまたは複数のプロセッサに対し、

紙基板と色材群に関する基本データを、機器非依存の色空間から離散可視スペクトル近似に変換する動作と、

前記色材群に関する機器依存の数値を正規化して前記色材群から前記紙基板が測色値に与える影響を除去することによって前記色材群の透過率ベクトルを生成する動作と、を行わせる命令を含むことを特徴とするコンピュータアクセス可能メモリ。

【請求項3】

コンピュータにより実施される方法であって、

第一の色材の色を説明する第一の機器非依存のデータを受信するステップと、

第二の色材の色を説明する第二の機器非依存のデータを受信するステップと、

紙基板の色を説明する第三の機器非依存のデータを受信するステップと、

前記第一の機器非依存のデータ、前記第二の機器非依存のデータ、前記第三の機器非依存のデータを、少なくともBierの法則の不連続版を使って、対応する機器依存のデータに変換するステップと、

少なくとも前記機器依存のデータまたはその派生データを使って、少なくとも前記第一の色材、前記第二の色材、前記紙基板の各々の色の見えの変化を表す色変化データを計算

するステップと、

前記色変化データまたはその派生データを出力するステップと、
を含むことを特徴とする方法。